

LCV「諏訪圏情報BOX」の収録について

- 放送日 平成31年2月19日(火)、2月26日(火)
- テーマ 「第24回卒業記念音楽会の開催について」
- 出演者 福祉大学校 学生会 歌声委員会委員長：前島彩乃 副委員長：小澤春那
- 聞き手とのやりとり (概要)

Q1 長野県福祉大学校で、「卒業記念音楽会」が行われるそうですが、「卒業記念音楽会」とはどういったものなのでしょうか？

はい。「卒業記念音楽会」は、長野県福祉大学校の学生による音楽学習の成果を発表する音楽会のことです。これまで代々受け継がれてきた伝統行事で今年度で24回目を迎えます。

私たちは、将来、保育士や介護福祉士など福祉に関わる仕事に就く学生が多く、そのために、県内各地で実習をさせて頂きました。そこで出会った子どもたちや利用者の皆さん、そして、職員の方々から、相手に対する思いやりや人とのふれあいの大切さを学びました。卒業が近づくと、「自分を支えてくれる家族や周りの人との関わりの中で、成長することができたのだ。」と感じています。

そこで、お世話になった方々への感謝の気持ちを、歌声で奏で笑顔で届けたいと想い、卒業記念音楽会のテーマを「奏～音で繋がる心と笑顔～」としました。ぜひ多くの方々に聴いていただければ嬉しいです。

Q2 「卒業記念音楽会」には、歌で感謝の気持ちを伝えたいという思いが込められているんですね。どのようなことをするのか内容の紹介をお願いします。

はい。この音楽会は3部構成になっています。第一部は、校歌「愛の歌」の全校合唱に始まり、アニメ『忍たま乱太郎』のエンディングテーマ「世界がひとつになるまで」といった子どもたちも知っている歌のメドレーや、保育学科1年生による「美女と野獣」、保育学科2年生と介護福祉学科の学生による「群青」また、福祉大学校の同窓会員による「ほうせんか」の皆さんの発表があります。

第二部では、私達、保育学科2年生がオリジナル創作ミュージカルの発表をします。ストーリー作りから、台本、音楽、衣装、舞台の小道具や大道具など、全てを、みんなで協力して作り上げてきました。いろいろな動物たちが登場し、歌あり、ダンスあり、笑いもあり、ドキドキ、ほっこり心温まるシーンまで、子どもから大人まで楽しんでいただける内容となっています。

また、保育学科1年生による「エビカニクス」というダンスの発表もありますよ。

第三部は、福祉大保育園の子どもたちと一緒に、手話をしながら「ともだちになるために」を歌います。そして、「世界に一つだけの花」など、私たちの大好きな歌もメドレーでお届けします。さらに、保育学科2年生は、川嶋あいの「旅立ちの日に」、介護福祉学科の学生は、ユーミンの「卒業写真」を、気持ちを込めて歌います。最後は、今年のテーマとなっているスキマスイッチの「奏（かなで）」と、唐沢史比古先生作曲の「きこえる」を全校で歌い、笑顔の華を咲かせたいです。

Q3 なるほど。たくさんの歌や合唱の発表だけでなく、創作ミュージカルの上演まであつて楽しそうですね。でも、創作となると苦労したこともあったのではないですか？

そうなんです。まずは、台本作りです。なんとなくこんな話にしようって考えるのはそんなに大変ではなかったのですが、内容が矛盾しないように台本を仕上げるのは難しかったです。それから、実際に演じようとしたとき、台本から読み取るイメージをみんなで共有する難しさや、内容を表現することの難しさに何度もぶつかりました。その度に、みんなで考えアイデアを出し合って、とても夢あふれる作品になったと思います。この音楽会での発表は、最高のものにしたいです。

Q4 ぜひ、多くの方々に来ていただけるといいですね。ところで、「卒業記念音楽会」を鑑賞するには、事前の予約や申し込みは必要なのですか

いいえ。申し込みは必要ありません。3月2日（土）下諏訪町総合文化センターやまびこホールにおいて、午後1時半から午後4時頃まで行います。卒業記念音楽会についてのお問い合わせ先は、福祉大学校教務室、電話番号0266-57-4821までお願いします。

Q5 最後に一言、お願いします。

私達、福祉の天使が、笑顔とさわやかな歌声でおもてなしをいたします。小さいお子さんのいるお家の方々、おじいちゃんおばあちゃんも一緒に、ぜひ、いらしてください。

将来、保育園、幼稚園や福祉関係で働きたいと思っている中学生や高校生の皆さん、この機会に、長野県福祉大学校の学生達の様子を見に来て下さい。待っています！